

資産形成で将来に備える！

投資信託、保険、定期預金などを活用して、資産形成を始めませんか？

2024年以降、少しずつ預金金利も上がっていますが、まだ物価の上昇よりも金利の上昇の方が低い環境が続いています。こうした環境では、仮に物価が上がりに続けていくと、保有しているお金の価値が、実質的に減少してしまうことにつながります。さまざまなライフイベントが発生する将来のことを考えると、収入を貯蓄だけに回すより、お金にも働いてもらう（運用する）ことが重要になります。

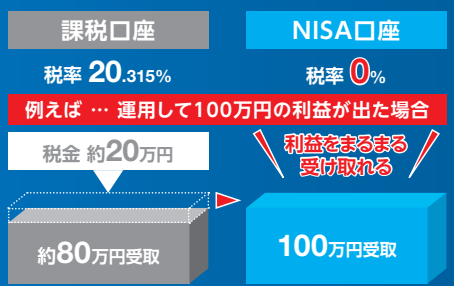
収入と支出のバランスを考え、一度資産の状況を整理してみることで、投資や将来の備えに活用できるお金がみえてきます。一緒に資産形成のことについて、考えてみましょう。

1 資産形成 NISA制度を活用し、積立で資産を育てましょう

資産形成といえば、投資信託や株式などの金融商品への投資が挙げられます。月々の収入から少しずつ購入していく「つみたて」タイプの商品などは、投資初心者にもおすすめです。また、2024年1月にNISA制度という税制優遇が改正され、これまで以上に投資が始めやすい環境になっています。

● NISAとは？

NISA（少額投資非課税制度）とは、個人の資産形成を応援する税制優遇制度です。通常、株式や投資信託などの金融商品から得られた利益には20.315%の税金がかかりますが、NISA口座で投資した場合は、運用益が非課税になります。



● NISA3つのポイント

POINT1

非課税投資枠は年間最大360万円※
2つの枠を併用できます
※ 購入時手数料等を除く

合計 **360万円**

つみたて投資枠120万円
+
成長投資枠240万円

POINT2

非課税保有期間は無期限
期限を気にせず運用できます

**運用益は
ずっと非課税**

つみたて投資枠 成長投資枠

POINT3

生涯の非課税保有限額額は最大1,800万円※
売却すれば枠を再利用できます※
※1 買付額(簿価)ベースで1,800万円(うち成長投資枠は1,200万円)
※2 売却の翌年以降、年間投資枠の範囲内で再利用できます。

再利用可

売却

最大1,800万円

投資信託のリスクについてはこちらをご確認ください。



2 将来への備え 将来のさまざまな可能性を想定して、保険で備える

保険は、将来のさまざまな可能性に備えるのに役立つツールです。リタイア後の生活資金を準備する「個人年金保険」、万が一の時のために家族に遺せる「終身保険」、病気やけがによる治療費を補填する「医療保険」など、豊富な選択肢があります。

既に保険に加入している方も、住宅購入や家族が増える時など、生活の変化が見直しのタイミングになります。ご自身やご家族に対しての必要保障額をときどき見直すことが、保険を上手に活用するポイントです。

当行でも、保険のサポート窓口「保険のご相談」を実施しています。家族構成などをもとにお客さまの必要保障額を算出し、最適なプランを提案しており、保険料の見直しなど、保険のお悩みにも相談無料で対応しています。

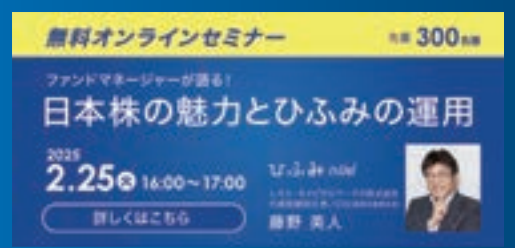


3 お金について考える 相談の機会を活用して、情報収集する

仕事や家事、育児で忙しい生活の中で、お金について独自に情報収集し、数ある商品を比較検討して選ぶのは、面倒に感じる人も多く、後回しにしがちです。そんなときは、一度お金について考える機会をつくることで、将来のお金に関する不安を減らすことができるかもしれません。当行では、土日開催する休日相談会や、運用会社と共催のオンラインセミナー等を開催しています。お気軽にご相談ください。



休日相談会



2025年2月に開催した無料オンラインセミナー